

日商岩井(株)東京本社

赤坂新築ビル披露

|| 辰巳会会員招待される ||

日本を代表する総合商社として国内はもとより海外のあらゆる場所、あらゆる分野で活動している日商岩井株式会社の東京本社とは従来の日本橋江戸橋の旧日商ビル、旧岩井ビルの二社屋分離とその後発展による狭隘とから脱却し更に一段と飛躍発展を計るため、赤坂に十八階建の近代的な大ビル落成とともに昭和四十八年三月十七日より約十日間を要し数社の直系子会社および取引関係先会社等を傘下に収さめ大挙引越を了せられた。



日商岩井赤坂新ビル

三月十四日には関係先約三千名を招待し大々的に新社屋の新築披露を行われた辰巳会々員並に日商岩井社友会の方々はこの大混雑の時でなくユックリこの立派な新社屋を見てもらった方が良いでしょうとの暖かい御心使いから四月二十五日午後三時新社屋十八階の晴しの良い食堂へ参集ということで辰巳会々員と日商岩井社友会の方々を合せて御招待戴き新社屋の御披露をして下さることとなった。有難く感謝に堪えない次第である。

当日は三月中旬より継続的に実施されていた国鉄等のストライキが更に発展し国鉄、私鉄等の大部分の交通機関がストライキに入るといふ最悪日に当面したため、出席予定者は東京支部としては近來稀な七十数名を予定し社友会と合せ約百八十名の出席予定だと思われたにも不拘、交通条件の困難により辰巳会関係四十余人で社友会の方々との合計でも百十名程の出席で多数の欠席者が出来誠に残念であった。

御披露説明会は午後三時新ビル十八階の大食堂に一同参集、厚生課長西田秀雄氏の司会により開かれ海外御旅行準備のため大阪へ出張の辻社長さんの代りとして専務取締役三浦広治氏より御懇篤な招待披露についての御挨拶があり、辰巳会を代表して鈴木丸衛幹事より謝辞とともに、この立派な十八階の地上約八十米に近い大ビルの高さは今日の世界的商社としての大日商岩井を永年に亘り築きあげられた役員・職員諸氏の功績の高さを示すものであり、また世界的総合商社としての日商岩井の名高さを誇示するものであると思ふと称賛され、益々のご発展をお祈りすると御祝詞を述べられた。続いて日商岩井社友会々員を代表して吉田秀太郎氏よりも謝辞祝辞が述べられた後、総務部長長谷川正之氏より新社屋の概要、諸種の合理化の点等につき詳しいご説明があり、近代大企業の合理化経営への指向の一端を知ることができ、一同感銘を受けた。懇談小憩のあと十七階の役員室その他の立派な諸設備を見せて頂き一巡のあとホテル、ニューオータニのパーティー会場へご案内された。ニューオータニのパーティーは相談役西川政一氏の挨拶のあと社



ホテルニューオータニ披露パーティ

今回の御懇篤な御披露御招待の御取計につき辻社長殿始め関係職員各位に心よりの謝意を表し有難く御礼を申し上げますと共にこの大新社屋御移転を機に更に益々の大飛躍大発展を遂げられる様御祈り申し上げる次第である。

終りに当日の御説明と戴いた資料により新社屋の概要および日商岩井株式会社の栄況等につき条項書きで簡単ながらメモを取り当日ご出席されなかつた方々のご参考に供したい。

◎新社屋の概要

ビルの名称 日商岩井ビル

所在地 東京都港区赤坂二丁目四番五号

敷地 五、九九四平方米(一、八一三坪)

建物 鉄骨鉄筋コンクリート造、外面アルミプレート張り

建築面積 二、四九四平方米(七五五坪)、延総面積六二、三二二平方米(一八、八五二坪)

高さ 地上七七米、縦八一米、横三一米

エレベーター 十階以下の低層用六台、一階より九階迄直行、九階より十八階迄用の高層用六台、外に非常用、荷物二台(低層用は玄関受付の右側、高層用は左側)

駐車場 地下一階より地下三階を駐車場とし収容可能台数三〇〇台

事務所の配置 玄関受付を一階に置く外、二階以上を日商岩井専用事務室とし、最も対外関係の多い計数部と昼夜勤務のある通信部を二階に置き、社内的に最も各部と接衝の多い経理、総務本部、財務部(各十階)、タイプ室、膳写室、社員食堂(各九階)と高層用、低層用両エレベーターの最も利用の便の処へ配置し、役員室を十七階、上層用食堂、医務室その他厚生関係の室を十八階に置き、外部よりとの関係、内部事務相互の関係の円滑化を配慮した事務室の配置をしている。

日商岩井社友会 ビル正面より見て左の角の六階に社友会室が置かれて居る。その隣室が集会室となつて居り、社友会室には社友会幹事として齊藤庸吉氏、石田俊一氏が在室される。齊藤氏は辰巳会東京支部幹事、石田氏は辰巳会々員であり辰巳会の方々の訪問も歓迎される。(当室電話五八八一四一八八)

◎日商岩井株式会社の現況概要

資本金 一五四億円 設立昭和三年二月八日(一九二八年)

土地管理

東神興業株式会社

社長 鈴木 治雄

神戸市生田区京町72 クレセントビル内
TEL (331) 3281

自動車用各種ホース・高圧及び超高压ホース・ライニング・エキスパンションジョイント・塗料・ナイロンコーティング



日輪ゴム工業株式会社

取締役社長 鈴木 治雄

本社 神戸市生田区江戸町98 江戸町ビル3階
TEL 331-6543
工場 姫路・厚木
支店 東京

当社は交通安全に寄与する

照明器具と車輻関係の特殊

ばねの専門メーカーです



横浜機工株式会社

取締役社長 坂本 寿

〒236 横浜市金沢区谷津町12番地
電話横浜 045 (781) 2701



日本精化株式会社

取締役社長 和井田 統一郎

神戸市東灘区本山南町
四丁目四番二六号
電話神戸 (078) 451-3981(代)

広燃株式会社

化合織糸布販売
繊維機械・建設資材販売

取締役社長 藤原 長司

福井市順化2丁目12番1号
電話 (0776) 22-2222番
支店: 大阪・東京 営業所: 名古屋

帝人株式会社特約店

富士商事株式会社

取締役社長 石本 喜久次
専務取締役 石本 幸久

大阪市北区網笠町大江ビル
電話 364-0177(代表)

役員

社長 辻良雄、副社長 橋本伸介、田中正一、専務取締役 四名、常務取締役 八名、取締役 十六名、監査役 四名

取扱商品

「ジェット機より小麦まで」と誇示している通り人間社会に関係ある物資全般といえる程の多種目にわたる各種品目(昭和四十七年度取扱高二兆三、九二九億一千八百万円)

国内ネットワーク

「北は釧路、南は那覇まで」とパンフレットに示す通り大阪、東京本社、名古屋支店の外支店一〇ヶ所、出張所三ヶ所

海外ネットワーク

パンフレットに「情報拠点で世界をつつむ」と誇示している通り、欧州一七ヶ所、アフリカ一四ヶ所、中近東、印度一四ヶ所、東南アジア二一ヶ所、大洋州六ヶ所、北米一四ヶ所、中南米一ヶ所、合計九七ヶ所に事務所を配置、完全に地球を包んでいる。

関係会社

○国内企業 鉄鋼関係二三社、非鉄金属関係三社、機械関係一八社、繊維関係九社、木材物資関係六社、燃料化学品関係一九社、食料関係一〇社、その他一一社、合計九九社

○海外企業

香港四社、フィリピン三社、シンガポール五社、マレーシア一社、インドネシア三社、タイ二社、オーストラリア四社、ニュージーランド一社、インド一社、アフリカ二社、欧州二社、中南米三社、北米一社合計三二社

日商岩井の流通センター

鉄鋼関係一二ヶ所、機械関係一ヶ所、繊維関係一ヶ所、木材関係三ヶ所、燃料化学器関係八ヶ所、食料品関係二ヶ所、合計二十七ヶ所

取引銀行

三和銀行、第一勧業銀行を始め国内銀行九六銀行、外国銀行一一銀行、合計一〇七銀行

昭和四七年度決算

取扱高	経常利益	利益	同率	配当
四七年 四、〇四、六〇〇	百八、〇〇〇	百八、〇〇〇	三%	三%
四八年 四、〇四、六〇〇	四、三三七	一、四〇〇	三%	三%
三月末 一、三三七、六五五	七、〇四四	三、三三三	三、七%	一、六%

(◎下期取扱高増大により住友商事を抜き大商社、五社入を果したとの事)

社員数

全社員数 七、二七九名
東京本社社員 三、二二七名
東京本社ビル収容人員 約三、五〇〇名
(含む系類会社社員)

猶日商岩井では東京本社ビル落成に続き名古屋支社ビルを三五米二五の高さ八階建総延坪二、二一九坪二二(七、三三六平方メートル四五)と改造、本年三月完成したのを始め、大阪本社ビルも近代的新社屋とするため、本年二月十九日着工、地上二一階、地下三階、総延面積四八、一六一平方メートル(一四、五六八坪八)の大ビルの建設中とのことで昭和五〇年二月には東区今橋三丁目一―および北浜三丁目二二の一角に地上八七米五五の大偉観を呈することになる由である。大日商岩井の大発展を心よりお祝いしたい。

(辰巳会東京支部幹事嶋内義治記)